



高山西ロータリークラブ

No. 2204 回 例会 平成 23 年 3 月 18 日

社会奉仕委員会

例会報告

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

●例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
●例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行 高山支店 4 F

●会長 鍋島 勝雄
●幹事 中村 良平
●会報委員長 米澤 久二



「月暈の浅間山」 蜘蛛手 康介

<会長の時間>

今回の「東北・関東大震災」において災害された方々には御見舞い申し上げると同時に、不幸にも御逝去された方々には哀悼の誠をささげます。



発生当時は他山の石にて興味半分にてテレビを見ていましたが、時間が経つにつれて事態の深刻さがヒシヒシと伝わってきました。地震の大きさ以上に、津波の破壊力は波の高さと下から持ち上げる力にて3階~4階のビルをいとも簡単に通過し自動車・住宅を木々端微塵にして押し流し・押し寄せる想像を絶する力となって恐怖を感じている時、私の長女が「旦那(見典)の母の実家が女川町で大変みたい」と言って来ました。自分の身内に当たるとは、直ぐに岡崎の実家に連絡を取ると連絡が取れないとのこと。数日連絡を取りましたら、4日後に全員無事との事で安心して居ましたら、昨日お祖母ちゃんだけ取り残されて逝去したとの連絡が入りました。

最悪の事態です、概略は祖父ちゃん・祖母ちゃんはチリ津波の経験者で地震直後に津波の事を話して居た様で準備を始めますが、電源が切れ、連絡の手段が無くなり家を出た時には津波が押し寄せて来たようです。長男に手を引かれ坂道を駆け上がった様ですが水に浸かり泳ぐように逃げたが次の瞬間引き潮が来て手を離れた瞬間沖にあつという間に流されたそうです。

地震・津波の力は何人もの尊い命を奪い、日本中に悲しみを与えました。しかし、悲しみを乗り越え、耐える力を日本人は持っています。我々も出来る事は何かを考え復興に少しでも協力しましょう。

また、会員の中にも、今回の地震で体験をされた方が居ます。機会が有りましたら説話をお願いするつもりです。その時は宜しくお願い致します。



<幹事報告>

◎ガバナー会、

地区ガバナーより

・東日本大震災被災地区に対する義援金について

◎台北東海ロータリークラブより

「東日本太平洋沖地震」へのお見舞い

◎高山中央ロータリークラブより

・創立20周年記念例会および祝賀会へのご臨席のお願い

日 時 5月14日(土)

記念例会16:00~17:30 祝賀会18:00~20:30

場 所 ひだホテルプラザ

臨席要請 会長

◎高山市スポーツ振興課 国体推進室長より

・ぎふ清流国体PRポスター等の配布について

1. 国体PRポスター 2. 国体PR卓上のぼり旗

◎高山市民憲章推進協議会より

・高山市民憲章実践及び推進者表彰の被表彰者推薦について

提出期限 4月18日(月)

提出先 高山市民憲章推進協議会事務局

<例会変更>

加茂東 … 4月7日(木)は、花見同伴例会のため

2日(土) 白川町 熊の島 に 変更

5月5日(木)は、法定休日(こどもの日)により休会

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	32名	6名	38名	44名	86.36%
本日	37名	—	37名	44名	84.09%

<本日のプログラム> 社会奉仕委員会

委員長 小林勝一

『社会奉仕委員会の大きな行事であるソフトミニバレーボール大会の後援について、どのようにお考えですか、貴方のご意見をお聞かせください』というアンケートをお願い致しましたところ、ほぼ全員の方より回答をいただきました。



地域を育み大陸をつなぐ

例会報告

アンケート結果

- | | | |
|---|------------|-----|
| 1 | これまで通り継続する | 22名 |
| 2 | 予算減額の上継続する | 11名 |
| 3 | 廃止する | 7名 |

上記の通り、『今後も継続していく』が80%と大多数でしたが、継続するという意見のなかでも予算・経費に関しては、今後検討する必要ありというが多く出されています。

*予算経費については奉仕活動費全体で考えてみてはどうか

*内部的な行事等の経費を減額しては

*予算の圧縮は致し方ないと思う。12万円を5万円に減額しては

*社会奉仕委員会単独で後援するのではなく、他の委員会と一緒に後援しては

*会費が無いなら何かを減らすしかない。食事は時には500円程度のパンでもよい。無駄を省いて活動費を捻出して頂きたい。

*優賞杯等を区切りのよいときに寄贈して廃止する

以上の意見の通り、今後継続していく為には、経費等について役員会及び理事会で御検討頂きたいと思えます。

尚先日、第55回ソフトミニパレーボール大会に出席した際、主催者及び多数の関係者からも是非とも継続して欲しいとの要望が強くあったことを記しておきます。

東日本大震災にかかわる義援金について

これまで日本、および世界各地での災害に対する義援金については、地区ガバナー経由の呼びかけに対応する形で理事会にて方針決定の上行ってきました。しかし、3月11日(金)発生した東日本大震災については、その甚大な被害を鑑み、高山西ロータリークラブとしてどう対応するのか、例会内容を一部変更し、全会員にて協議しました。

- ・ロータリーは寄付団体ではない。基本はそれぞれ個人、企業としての対応で
- ・災害規模を考えればある程度まとまった金額とすべき
- ・これまで行っている「100万\$の食事」のように、例会食費を節約しその差額を義援金とする
- ・5月の新緑例会を取りやめ、差額を義援金とする
- ・西日本だからこそ、宴会を取りやめる等経済活動の抑制はすべきではない
- ・差額を送金するとなれば、時期が先延ばしになる。息の長い支援は必要だが、この場合には早く動く事が重要
- ・ニコニコの積立である特別会計はこのような時にこそ活用すべき
- ・高山3クラブで足並みを揃えては

上記のような意見を集約し、以下の様に決定。

- ① 会員各自からの義援金は募らず、クラブ特別会計を活用

- ② ガバナー会へは10万円

- ③ 下限100万円として高山3ロータリークラブで、調整不調であれば西クラブ単独で、しかるべき団体経由で義援

この結果を受け会長が他クラブとの調整をしたものの、結果的には単独「高山西ロータリークラブ」として、「高山市民時報社」に24日(木)、鍋島会長が100万円を持参しました。

<ニコニコボックス>

●高山RC 新谷さん

JTB「日本の国 愛三岐 キックオフパーティー」にて、西ロータリーからお借りした裃を國島市長に着てもらい、高山のPRをして頂きました。お礼をニコニコへ。

●鍋島 勝雄さん

東北関東大震災にて、被災および死亡された方々を偲び

●野戸 守さん

10.11日と水戸、千葉護国神社と靖国神社へ参拝の帰り、箱崎インターで地震に合い大変な目に合って来ました。九死に一生を得た事と例会に出席出来た事、喜んでいきます。

●垂井 政機さん

掛かってくる電話はキャンセルばかりです。ニコニコすることもありませんでしたが、岩手の宮古地区の駅弁屋「魚元(ウオモト)」さんの無事が確認できました。お店・工場は全壊しましたが、おかみさん以下は高台に避難して助かったそうです。

●谷井 伸之さん

東北関東大震災の被災者の皆様にお見舞い申し上げます。個人的な事ですが、3月異動が延期になりました。またしばらくお世話になります。

●非国民さん

8名の国を想わん非国民、お詫びのしるしです。